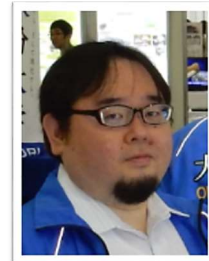


研究分野	バイオエレクトロクス, がん治療, 医工連携, 産学官連携協働教育
キーワード	分子生物学, 細胞生物学, パルスパワー, ブレインストーミング

医工連携研究と産学官連携協働教育



全学研究推進機構 URA チーム室 <http://www.ico.oita-u.ac.jp/ura/>
 助教 **安部 恵祐** (Keisuke Abe)

研究概要

1. ナノ秒パルス高電界等を用いた「がん治療」研究

ナノ秒パルス高電界およびバースト正弦波高電界を用いて、がん細胞の細胞死促進の研究を行っている。現在、ナノ秒パルス高電界は5nsのものが開発され、細胞死誘導以外の用途の研究を進めている。

(詳細 URL) <http://www.ipps.kumamoto-u.ac.jp/index.html>

上記の研究経歴を活かし、医工連携関係のプロジェクトを支援している。

2. 産学官連携協働教育

COC+事業にて、産学官と連携し、次世代を牽引できる若手リーダー人材創出プロジェクトを実施している。現在、授業「地域ブランディング」「利益共有型インターンシップ」に参画し、地域への提案や商品開発のファシリテーションを行っている。

(詳細 URL) <http://www.cocplus.oita-u.ac.jp/>

また、パルスパワーを応用した食品加工の特許出願等も行っている。

「動物骨材のクラック形成装置及び形成方法 (特願 2010-043763)」

大分の豊かな食材を用いた食品開発等 (開発～販路開拓) も行いたい。

アピールポイント (技術・特許・ノウハウ等)

1. 非加熱電界を用いた技術等

特許出願 1 ナノ秒パルス電界を用いたアポトーシス誘導方法 (特願 2011-047162)

特許出願 2 レーザー光を用いた浮遊物回収方法及び器官および臓器創生装置 (特願 2013-020983)

2. 若者の独自アイデアを活かした取組

若者の斬新なアイデアを用いて、企画等を行っている。

応用可能な分野

1. 医療機器開発・食品等の加工 (殺菌処理・硬質物の軟化・繊維の取り出し等)

2. 地域おこし活動、商品開発 (旅行・食品・土産等)、若者企画の導入

個人的に「ハイレジ麺」の開発・太りにくいラーメン・ジビエ白湯の開発を行いたい。